

基礎講座ニュース

第4回 「子どもの権利条約を学ぶ」

日時 7月17日(木) 受講者 7名 考える会 3名

◎講座内容

- ・子どもは一人ひとりかけがえのない存在であり、自らが育つ力を持っていて、子どもの行動には背景があり、自らの思いを十分に表現できないことやその表し方もさまざま。そして子どもは、失敗も含め様々な経験を積み重ねながら、成長・発達していく過程にあることを十分にふまえてはならない。
- ・子どもの「権利」は大きく分けて・生きる権利・育つ権利・守られる権利・参加する権利の4つがあり、この4つの権利を守るために定められている4つの基本原則がある。そして、子どもはこれらの権利の行使主体である。
- ・子どもたちの「思い」「願い」をきちんと聴くこと。「子どもにとって1番いいこと」を子どもと共に考え合うこと。「子どもの休息、余暇の権利」を実現できるようにすること。
- ・子どもを理解して“意図的に”対応するためには「子どもの権利条約」と「発達」を学ぶ必要がある。

◎受講者からの振り返りシート・感想より(一部抜粋)

- ・権利を理解し、権利侵害に敏感になれるように努めなければならないことと、子どもの声を良く聴き、一人一人の成長発達のペースを尊重、失敗や迷い葛藤しても大丈夫だと思える環境づくりと過程を大切にする、「子どもと共に」考えていく姿勢がとても必要なのだとわかりました。
- ・注意して終わりにしてしまうことが多かったけど、どうしてそのような行動をしたのかなど、子どもたちの思いをしっかりと聞いていくことが大切だなと思った。
- ・余暇をどう過ごすか、子どもが自分で考え、決め、自由に過ごせる時間が大切な時間で成長に繋がることがわかりました。しかし、まったくできていない現実が子どもだけでなく大人にも問題を引き起こしていて悲しく思いました。
- ・これまで、子どもの権利は「守ってあげるもの」として捉えていた部分もありましたが、この講座を通して「子ども自身が主体である」という視点を新しく学び、自分の中の意識が大きく変わりました。そして、自由や権利は何でも思い通りにしていいということではなく「他人の権利を侵害しない範囲での自由」であるということもとても大切な考え方だと感じました。